



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

**UNITE
FOR
GOOD**
よいことのために
手をとりあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ
よいことのために手をとりあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
<イタリア>



第1764回例会 令和7年12月23日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 我等の生業 唐澤千明ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・衛星クラブ 馬場秀則会員
- ・支援留学生 ジュ イェソン 様

■ 会長談話 井上修会長



パンダが中国に返還され悲しむ声が聞こえますが、私は喜んでます。パンダのレンタル料は 1 億円内外と言われ法外です。又日本で生まれたパンダの所有権も認められていません。他の動物の購入・レンタル料(ゾウ 3000 万 クロサイ 4500 万 カバ 600 万 トラ 500 万 キリン 300 万～ 1400 万)に比べても高すぎます。この際一切の縁を切るのが良いと思えます。

■ 1分間スピーチ

・池上幸平会員



12月21日の夕方6時から唐沢稔会員のお店ポッケでギターの弾き語りコンサートを熊谷健さんに誘われて聞きに行ってきました。第590回という歴史のある会で月に1回で年に12回でもう49年間つづく歴史のあるシンガーソングライターの集まりであります。10組の人が3曲もしくは15分間の発表時間です、私はポッケさんのお客さんということでせまいカウンターに座り、濃いめのハイボールを頼み厚揚げの煮物をおかずに薄暗い席で健さんの出番を待っていました。いよいよ健さんが出てきて、今年の一文字は、熊で私はみなさんに愛される熊になりたいと挨拶で始まりました。驚いたことに、演者の人たちの表現力、感性、言葉の使い方が、どうしてできるか疑問です。例えば真綿色したシクラメンほど悲しいものはない、出会いの時の君の、様です。とても、ビックリです。2時間近く聞いていましたがとても楽しく新鮮な時間を過ごせました。昭和の人間としては何か心に響き、残るものがありました。

・田中洋会員



■ ニコニコボックス

- ◆井上修 何とか年末を迎えられました。皆様のご協力に感謝申し上げます。明年も信州大学農学部訪問、裁判傍聴と新しい企画を予定しています。本年に倍しましてよろしくお願い致します。良いお年をお迎えください。
- ◆加藤篤 令和7年最後の例会です。令和8年もよろしくお願い申し上げますとともに皆様にとって良き年となるよう祈念いたします。良いお年をお迎えください。でもまだロータリー年度は半年もあります。
- ◆橋爪麻人 初体験のソプラノコンサートでしたが、来年の計画にオペラ鑑賞が加わりました。
- ◆田中洋 昨日、井上会長より1分間スピーチをせよとのお話をいただきました。誠に話すことが苦手で数かしい限りですが頑張ります。
- ◆鈴木一比古 一年間大変お世話になりました。新しい年も海老屋料理店をよろしくお願い致します。

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・12月20日（土）第3回地区インターアクト委員会及び顧問教師連絡会の報告 井上修地区IA委員

第三回 2600 地区インタ - アクト委員会 が 12 月 20 日 10 時から 15 時迄地区委員・顧問教師 15 名の参加で行われました。前半は今年度の独自研修報告と反省、来年度の計画、予算を検討、又、地区大会の今後の運営（輪番制の検討 地区大会に変わるものの模索）等など話し合われました。午後は地区青少年奉仕委員会カウンセラー、桑澤一郎パストガバナーから、青少年活動における危機管理研修が行われました。危機管理のキーワードは①ふれない ②1 対 1 は避ける ③丁寧な言葉使いをする・・更に・・さわるな！二人になるな！しゃべるな！というものだそうです。



地区委員・顧問教師会議 塩尻志学館高校



桑澤パストガバナー講習

■ 出席報告

会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者（例会場）26名（ZOOM）1名 事前メイク1名 出席率80.00% 前回出席率 修正なし

・宮下健会長エレクト挨拶



1. 活動方針

2026-2027 年度ガバナーエレクト橋上信久氏（飯田南ロータリークラブ）の地区テーマ『COME BACK TO SHINSHU ～次世代に向けて魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを、新たな発想で考え行動しよう！～』のスローガンを踏まえ、青少年が地域への誇りと愛着を持ち、将来「信州で暮らし・働く」ことの価値を感じられるような体験の機会を創出する。併せて、当クラブスローガン『地域に根ざした奉仕の 40 年～持続可能な未来へ～』の精神のもと、地域に根ざした青少年育成活動を展開し、次世代を担う若者の成長を支援する。

2. 重点活動テーマ

（仮）『ふるさと信州の心をつなぐスポーツ育成支援』
～イーナソフトボール Jr との連携を軸に～

3. 活動概要

信州ソフトボール Jr フェス 2026（仮称）開催支援

- ①目的：2028 年伊那市での国体ソフトボール競技開催を見据え、県内ジュニアチームの交流を通じて青少年の健全育成と地域の一体感を促進する。
- ②主催・共催（想定）：伊那中央ロータリークラブ、伊那市、長野県ソフトボール協会
- ③開催時期：2026 年 9 月～10 月（調整を要す）
- ④会場：伊那ニッパツスタジアム（伊那市営球場）
- ⑤内容：県内ジュニアチームによるトーナメント戦等々
- ⑥クラブの役割：大会運営支援、ボランティア協力、広報活動、参加者交流支援

4. 期待される成果

- ①青少年の健全育成と地域愛の醸成
- ②国体開催を契機とした地域一体のスポーツ振興と交流促進
- ③伊那中央ロータリークラブの社会的存在感の向上

5. まとめ

伊那中央ロータリークラブの長年の青少年支援実績を礎に、国体開催という地域の追い風を活かした「信州らしい青少年育成活動」を展開する。

スポーツを通じた友情・奉仕・地域愛の輪を広げ、未来の信州を担う若者たちを応援することが、本年度青少年奉仕活動の中心的使命である。

・小椋文成次期国際奉仕・ロータリー財団副委員長より



宮下会長エレクトから地区方針である「青少年が地域への誇りと愛着を持ち、将来『信州で暮らし・働く』ことの価値を感じられる体験の機会を創出するため、また次年度スローガンに即し、地域に根ざした青少年育成活動を展開し、次世代を担う若者の成長を支援するために、信州ソフトボール Jr フェス 2026 を開催支援したい旨の説明がありました。そこで、次年度地区補助金事業については 2028 年に伊那市で開催される国体ソフトボール競技を見据えて県内ジュニアチームの交流を図りながら、青少年の健全育成と地域の一体感を促進するためにジュニアチームの大会を開催する方向で検討をさせていただきようお願いします。

現在、県内のジュニアチームは部活動の地域移行なども影響があり、チーム数の減少やクラブ員の減少などが起きてきていて活動の継続が非常に難しくなっています。また、大会の数も少なく、交流する機会が少ない状況です。何年か前に南信地区の大会を立ち上げましたが、その大会も継続することができずに終了してしまいました。このような状況の中でロータリーのような団体が支援し国体のような目標に向かってジュニア世代の交流や、地域で大会を盛り上げる雰囲気作りをすることは非常に大きな意味を持つと思いますので、ぜひ補助金事業として採用していただくようお願いいたします。

・質疑応答

■ 点 鐘

13 : 30

令和8年1月13日(火) 次回例会
点鐘 / 18:30 場所 / 海老屋料理店
・ 新年初例会